

田原市

あなたと議会を結ぶメッセージ

議会だより

No.64

平成29年11月1日号

今月の渥美半島の花
「輪菊」



平成29年第3回定例会 (9/1~22)

- 定例会で決まったこと..... 2
- 平成28年度決算..... 4
- 一般質問..... 8

その他

- 行政視察報告..... 16
- 議会の活動..... 18
- 意見交換会を開催しました..... 19

輝け!!

和太鼓演奏で広める障害者理解

障害者とその家族などが集まって活動している「渥美虹の会」の皆さんです。(インタビュー20ページ)



平成28年度決算を認定

第3回 定例会 (9月1日~22日)

こんなことが決まりました。

市長提出議案 16件
議員提出議案 3件

第3回定例会は9月1日から22日まで開催しました。

平成28年度決算認定を含む市長提出議案16件を、いずれも原案のとおり可決・承認しました。

また、意見書3件を採択し、国の関係機関に送付しました。

▷関連4~7・17ページ

議案第78号平成28年度一般会計歳入歳出決算認定ほか7件
**平成28年度
決算を認定しました**

9月11日から14日までの4日間、予算決算委員会において決算内容を審査し、本会議最終日にすべての決算を認定しました。

決算規模

歳入総額

480億6500万円

歳出総額

459億906万円

(一般会計・

特別会計の合計)

※万円未満切り捨て

▽関連4・5ページ

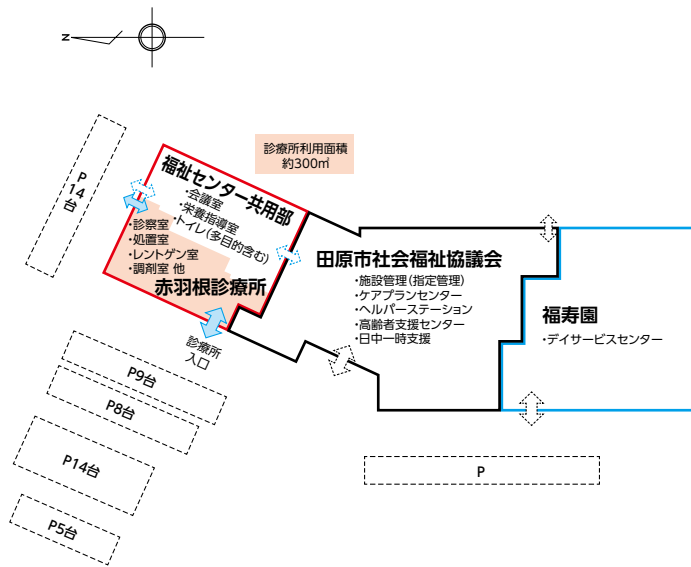


防災機能強化に努めた

議案第71号 赤羽根診療所の設置及び管理に関する条例

赤羽根診療所
平成30年4月オープン

医師空白地域の解消のため、赤羽根地区（赤羽根福祉センター内）に開設。在宅医療の充実のため、地域住民のかかりつけ医としての機能を担います。



▽関連6ページ

議案第75号 平成29年度一般会計補正予算(第2号)

**定住・移住促進奨励金の
予算を増額**

田原市への定住・移住のための住宅取得費用の一部を補助する奨励金。対象者が当初の見込みより多いことから、さらなる定住・移住を促進するため、奨励金の予算が増額がされました。



一般会計

歳入総額 306億6005万円
歳出総額 293億8761万円

市の会計のうち、基礎的な経理を中心とした会計です。

平成28年度の予算は主に次のように使われました。主なもののため、合計は一致しません。(万円未満切り捨て)

平成28年度決算を認定

市長は、翌年度予算を決める3月の定例会までに、前年度の決算について議会の認定を受けなければなりません。

9月11日から14日までの4日間にわたり、予算決算において決算内容を審査し、本会議最終日に全ての決算を認定しました。

(質疑は予算決算委員会でのもの)

問 定住移住促進奨励金を交付した150件の市内外の内訳は。市外が23件、市内が127件。交付を受けた方へのアンケート結果は。約25%の方が新築住宅の取得の後押しになったと回答した。

答 具体的財源確保策は、財政需要を国的に的確に伝え、交付税を獲得していく。市の財政調整基金をはじめとした基金を、税収の状況に応じて活用していく。

問 減収危機における決算の認識は。前年度に比べて、歳入はマイナス約23億円、歳出はマイナス約11億円、実質収支はマイナス約12億円で、減収危機対応プランで想定したとおり、財政規模が縮小局面に入ったと認識している。



総務費
33億858万円
財政調整基金・ふるさと応援基金等積立 4億9089万円
定住・移住促進奨励金など 6055万円

問 地域子育て支援センターにおける相談内容は。臨床心理士による個別相談では、お子さんの言葉や心の発達、食生活や排せつなどの基本的な生活習慣、保育園や認定こども園の入園、育児不安やストレスなど、いろいろな相談があった。

答 地域子育て支援センターにおける相談内容は、臨床心理士による個別相談では、お子さんの言葉や心の発達、食生活や排せつなどの基本的な生活習慣、保育園や認定こども園の入園、育児不安やストレスなど、いろいろな相談があった。

問 認知症初期集中支援チームの実績は。相談件数は84件。そのうち継続的に対応したのは15件。問題点や課題は。相談件数が今年度減少している。支援チームによる早期受診・早期対応も重要だが、認知症の方を地域で見守ることも大事な部分。認知症サポーター養成講座など地域で支える取り組みをしていく。



民生費
80億1130万円
認定こども園運営支援 2億330万円

問 地域医療確保対策のための調査業務の内容は。医師空白地域となった旧赤羽根町区域での診療圏の調査と診療所開設にかかる経費などのシミュレーションを行った。

答 地域医療確保対策のための調査業務の内容は、医師空白地域となった旧赤羽根町区域での診療圏の調査と診療所開設にかかる経費などのシミュレーションを行った。

問 医師確保就学資金貸与者の状況は。貸与中7人、貸与終了者6人で、合わせて13人。終了者のうち2人が渥美病院に勤務となり、1人は現在も勤務中で、1人は渥美病院で勤務後、医局人事で別の病院に移った。



衛生費
26億5222万円
地域医療確保対策 (地域医療推進基金積立など) 3億77万円



農林水産費
19億9859万円
農業経営活性化
農業経営活性化
(JA愛知みなみライスセンター施設整備補助など)
4億3668万円

問 農業経営活性化事業の人材育成調査の内容と結果は。

答 内容は、豊橋田原広域農業推進会議が実施した、農業教育機関の創設を含めた次世代人材育成のあり方の検討。結果として、地域農業の維持発展のためには担い手の育成、確保が最も重要、また、地域農業の魅力あるライフスタイルづくりにつながる農業系高等教育機関の整備を進めていく必要があるという報告がされた。

問 水産業担い手育成事業の内容と効果は。

答 「渥美あさり」の担い手を育成するため、先進地視察と担い手づくりの方向性の検討を行った。視察は、アサリの養殖方法やブランド化について大変参考となった。



土木費
40億5324万円
福江地区まちづくり事業
1億12万円

問 景観重点整備地区まちづくり支援は、いつまでを予定しているのか。

答 田原中部地区、福江地区、ともに景観まちづくりを意識のある方に集まってもらい、将来の景観に配慮したまちづくりをどのようにしていくかという検討をしている。景観計画に結びつく活動として、いったんの区切りはあると思われるが、いつまでというのは今のところ決めていない。

問 (仮称) 弥八島海浜公園の測量設計の成果は今後につながるかと考えて良いか。

答 民間活力の導入も踏まえ、また、地域の意見も踏まえながら、昨年度整理した基本計画案をベースにし、ビジョンや活用方法について、今後詰めていきたい。



教育費
35億389万円
野田小学校体育館整備
3億8869万円

問 児童生徒の学力向上を図ることを目標に配置された「学びのみかた」非常勤講師の取り組みの成果は。

答 きめ細かな指導が可能となり、学力向上につながる漢字や計算など基礎・基本が身につけている。

問 教育サポートセンターの相談件数が増えているが、対応は。

答 相談できる場ができたことや相談を受ける体制が整ってきたこと、問題が深刻になる前に相談できるということが、相談件数の増加につながっている。相談には、十分対応できていると捉えている。

問 図書館と学校図書館との連携は。

答 図書館と学校図書館との連携は、学校への資料の提供、学校司書の研修のほかに、学校司書との意見交換・情報共有のための合同会議を年4～5回実施している。

特別会計・企業会計

一般会計と分けて経理する必要があるため、事業別に分けられた会計です。

会計	区分	歳入総額	歳出総額	差引額
特別会計	国民健康保険	92億9778万円	89億6867万円	3億2911万円
	公共下水道事業	17億1972万円	16億5668万円	6304万円
	農業集落排水事業	9億4865万円	8億5095万円	9770万円
	田原福祉専門学校	1億2416万円	1億2415万円	1万円
	介護保険	46億2436万円	42億3445万円	3億8991万円
	後期高齢者医療	6億9026万円	6億8651万円	375万円
水道事業会計(企業会計)		収益的収入13億5302万円	収益的支出13億1019万円	4283万円

※万円未満切り捨て

■平成29年第3回定例会議案一覧

意見書3	意見書2	意見書1	議案 番号	85	84	83	82	81	80	79	78	77	76	75	平成29年度補正予算	74	73	72	71	70	議案 番号	
道路整備予算の確保及び道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書	精神障害者に対する公共交通機関の運賃割引制度の適用についての意見書	定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書	議長提出議案	決算認定	水道事業会計利益の処分及び決算認定	後期高齢者医療特別会計	介護保険特別会計	田原福祉専門学校特別会計	農業集落排水事業特別会計	公共下水道事業特別会計	国民健康保険特別会計	一般会計	介護保険特別会計(第1号)	国民健康保険特別会計(第1号)	一般会計(第2号)	債権の放棄	関する条例の一部改正	田原市都市公園条例の一部改正	田原市市営住宅の設置及び管理に関する条例	田原市赤羽根診療所の設置及び管理に関する条例	教育委員会委員の任命 (大田 孝雄 氏)	市長提出議案

主な質疑

議案に対する委員会・
本会議での議員の質疑・
意見です

議案 No.71 赤羽根診療所の開設

- 問 使用料はどのようなものか。
- 答 診療所で診療を受けたときの、診療にかかる診察料の自己負担額。
- 問 診療所では、院内処方か。
- 答 院内処方を予定している。
- 問 在宅医療や訪問看護に対応できるのか。
- 答 赤羽根地区に限らず、在宅医療や訪問看護を含めた地域医療に対応する予定。

(9/7 文教厚生委員会)



議案 No.74

田原駅南公共駐車場の賃料相当損害金請求権の放棄

- 問 放棄する債権の額81万4000円の根拠は。
- 答 自動車が放置されていた期間の使用料金。平成25年1月1日から平成26年3月31日までは、1日当たり500円で455日となり、22万7500円。平成26年4月1日から平成29年5月24日までは、1日当たり510円で1150日となり、58万6500円。合計で81万4000円。
- 問 指定管理者が駐車場を毎日巡回しているとのことであったが、現在の管理体制は。
- 答 現在も、指定管理者が毎日定時に巡視している。
- 問 指定管理者の責任は。
- 答 市と公共駐車場の管理に関し、協定を結んでおり、その中で業務範囲と責任についての規定をしている。放置自動車への対応は指定管理者、撤去費用は市が負担するとあり、所有者の両親を採って連絡をとるなど放置自動車への対応は、指定管理者も十分行ってきた。

(9/7 総務産業委員会)

■意見書を送付しました

▽定数改善計画の早期策定・実施と義務教育費国庫負担制度の堅持及び拡充を求める意見書

田原市教員組合執行委員長鶴飼毅氏からの陳情を受け、文教厚生委員会での審議後、本会議において全会一致で可決し、内閣総理大臣、文部科学大臣などに意見書を提出しました。

(意見書の内容)

- ・小学校・中学校の少人数学級の拡充を含めた教職員の定数改善計画を早期に策定し、実施すること。
- ・義務教育費国庫負担制度を堅持するとともに、国庫負担率を2分の1に還元すること。



賛否が分かれた議案

本会議では、議案に対して一人ひとりの議員が賛成・反対の意思表示をします。

今定例会では、以下の議案の賛否が分かれました。賛成・反対の討論はこのページに掲載しています。

また、その他の議案は、全会一致で可決しました。

議案番号	議案名 (一部省略)	結果 (賛成：反対)	中神 靖典	仲谷 政弘	太田由紀夫	赤尾 昌昭	河邊 正男	廣中 清介	森下田嘉治	岡本 禎稔	平松 昭徳	杉浦 文平	小川 貴夫	大竹 正章	長神 隆士	荒木 茂	彦坂 久伸	辻 史子	古川 美栄	渡会 清継	
78	平成28年度歳入歳出決算認定 一般会計	認定 (16:1)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
79	平成28年度歳入歳出決算認定 国民健康保険特別会計	認定 (16:1)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
83	平成28年度歳入歳出決算認定 介護保険特別会計	認定 (16:1)	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

○…賛成 ×…反対 —…議長は議決に加わらない



討 論

議案に対する
本会議での議員の
賛成・反対の表明です

議案 No.78

反対 (河邊正男)

農業、学校配置計画、子育て支援、公
共施設適正化、ごみ処理など、まちづ
くりにはしっかりとした理念を示し、
適切な取り組みをするべきではないか。

賛成 (中神靖典)

農業振興施策の推進や市民の安心した
暮らしのための取り組みが着実に実施
された。市債残高は減少し、財政健全
化にも配慮されている。

議案 No.79

反対 (河邊正男)

歳入総額に比べ、歳出総額が少なく「黒
字」となっている。高い国保税を引き
下げるべきではないか。

賛成 (岡本禎稔)

制度を安定的に運営するための必要か
つ適正な決算である。

議案 No.83

反対 (河邊正男)

低所得による保険料滞納者に対し、救
済するしくみをつくるべきではないか。

賛成 (廣中清介)

高齢者支援センターを中心とした高齢
者支援など、介護保険事業は適正に運
営されている。

意見書を送付しました

▽「精神障害者に対する公共交通機関
の運賃割引制度の適用についての意
見書」

田原市精神障害者家族会しおじ会会
長 荒木勝己氏からの陳情を受け、文教
厚生委員会での審議後、本会議におい
て全会一致で可決し、内閣総理大臣、
厚生労働大臣などに意見書を提出しま
した。

意見書の内容

・精神障害者についても、身体障害者
及び知的障害者と同等の運賃割引制
度が適用されるよう、公共交通事業
者に対して働きかけを行うなど、必
要な措置を講じること。



ここが聞きたい

一般質問



議会ホームページで本会議の映像を見ることができます。

www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/

田原市議会

インターネット議会中継

生中継・録画中継

温泉活用の可能性がある場合の対応は

検討組織を立ち上げ、検討していく



小川 貴夫
自民クラブ

渥美半島創生の推進について

問 花を活用した新産業創出に向けた調査内容と今後の方向性は。

答 花の加工・販売・流通・6次産業化から生み出される商品やサービスの可能性を調査する。花の生産から消費までの一連の流れの中で、関係する担い手だけでなく、異業種からもその担い手を発掘していくために、地域として備えておくべき機能、整備方針を検討する。

問 温泉開発可能性調査の目的、進捗状況と今後の方向性は。

答 伊良湖岬周辺の新たな魅力、地域の活性化につながることを期待し、実施している。調査結果を踏まえ、事業実施の可能性を検討する。

問 温泉活用の可能性がある場合の対応は。

答 関係機関による検討組織を立ち上げ、事業計画や役割分担について検討していく。

問 市内宿泊費助成事業は有効な施策だと思う。今後の方向性は。

答 宿泊費以外にも経済効果が出ている。引き続き効果検証を行い、事業効果の一層の向上に努める。

スポーツ施設の整備充実について

問 渥美運動公園屋内競技場で温度などの暑さ指数の測定（28℃以上）を行ってはどうか。

答 熱中症対策のためにも、測定機器の配備を考えていく。

問 渥美運動公園野球場での照度の測定結果は。

答 照度調査を今年2度行ったが、必要な明るさは確保されていない状況。まずは老朽化した電球を交換するなど、明るさが確保できるように努める。

高木住宅整備は2か月間で政策変更された 政策推進会議の議事録はあるか

議事録はない。会議では市が所有している未利用地の活用・住む方たちの利便性を検討した



河邊 正男
日本共産党田原市議団

田原市の公共施設のあり方について

- 問** 公共施設を既存のまま維持するための費用は年間約42億円、インフラ施設は43億円と試算された。これを受けて市民意識調査をした結果は。
- 答** 約6割の市民が、「行政サービスを維持するため施設の統廃合があっても仕方がない」と回答した。
- 問** 試算額は、補助金などが含まれた総事業費で計算されている。補助金を差し引いた一般財源でいくらになるかを示すべきでは。
- 答** 一般財源での計算は、積算熟度に欠けるため、補助金などを含めた事業費全体で計算する方が妥当と考える。
- 問** 田原市公共施設等総合管理計画では2040年の人口を約5万人としている。田原市人口ビジョンの将来人口6万人で計画すれば、20年間で30%のコスト縮減という数字にはならないのでは。
- 答** 仮定の話になるので、そこまでは回答できない。
- 問** 公共施設適正化計画では、耐用年数を50年とした試算をしているが、今の技術では80~100年も可能といわれている。予防保全型維持管理の視点でコスト縮減計画を見直すべきではないか。
- 答** 現在のところ見直す計画はない。

- 問** 高木住宅整備は2か月間で政策変更された。政策推進会議の議事録はあるか。
- 答** 議事録はない。会議では市が所有している未利用地の活用・住む方たちの利便性を検討した。
- 問** 当初の計画から変更となり、その後、設計業務委託契約も解除された。議事録を残してないのは無責任ではないか。
- 答** 将来的に見て、そのまま進めるとお金も中途半端に使うので、見直した。

スポーツによる地域社会活性化について

- 問** 市民の健康づくりのため、子どもから高齢者まで多様な種目を取り入れたスポーツイベントとしてシティマラソンを開催してはどうか。
- 答** 市民や団体の機運の高まりも含め、総合的に考えて、進めていけるものであれば進めていきたい。



一般質問

- | | | |
|------|------|--|
| P 8 | 小川貴夫 | 渥美半島創生の推進について
スポーツ施設の整備充実について |
| P 9 | 河邊正男 | 田原市の公共施設のあり方について
スポーツによる地域社会活性化について |
| P 10 | 大竹正章 | 田原福祉専門学校のある方について |
| P 11 | 中神靖典 | 広域幹線道路の整備について |
| P 10 | 仲谷政弘 | 道路メンテナンスのPFI事業について |
| P 12 | 古川美栄 | 鳥獣等による被害状況とその対策について |
| P 13 | 岡本禎稔 | サンテパークたはらの今後の展開について |
| P 12 | 廣中清介 | 田原市の喫煙対策について |
| P 14 | 赤尾昌昭 | 公契約条例について |
| P 15 | 辻 史子 | 住民主導の事前防災行動計画（タイムライン）について |
| P 14 | 杉浦文平 | 市営高木住宅の運営について |

田原福祉専門学校を指定管理者などが行うことを検討しているか

愛知県や東三河広域連合の参画を含め、検討していく



大竹 正章
自民クラブ

田原福祉専門学校のあり方について

- 問** 市内介護人材の不足実数を、どの程度見込んでいるのか。
- 答** 毎年、介護福祉士が20～30名、介護職が10～20名必要と予測している。
- 問** 介護福祉士養成校として運営を続けることは、今後困難ということか。
- 答** 介護福祉士に限らず、人材の養成は必要である。
- 問** 介護福祉士に限らない人材とはどのようなものか。
- 答** 運動、リハビリ、栄養など総合的な視野で介護支援に従事できる人材を考えている。
- 問** 市が検討している看護学科創設について、まずは看護師養成の修学奨励金を活用していく考えはないのか。
- 答** 奨学金制度の必要性を検討したい。
- 問** 訪問看護を視野に入れ、少子化時代に看護師を確保するため、スリーピングナース（※）の掘り起こしに力を入れてはどうか。
- 答** 渥美病院などでも確保に努めているが、有効な手段はなかなか見つからない。

- 問** 地域介護人材を輩出するために外国人を受け入れてはどうか。
- 答** 外国人の受け入れは地域介護人材確保の手法の1つ。公立校として、介護福祉士資格を取得し、在留資格を得て定着してくれる外国人の受け入れを目指したい。
- 問** 介護の専門分野に特化した日本語指導教員の配置が必要ではないか。
- 答** 国家試験合格のためなどを考えると、課題であり、検討している。
- 問** 民間活力導入という観点から田原福祉専門学校の指定管理者制度導入などは検討しているのか。
- 答** 民間にという部分は少し疑問を感じるが、公立的な学校運営が可能な愛知県や東三河広域連合の参画を含めて、検討していきたい。

（※）看護師資格を持ちながら、様々な理由で、現在看護師として就業していない方

問 答

低濃度エタノールによる土壌消毒のメリットは。
既存の消毒薬に比べ、格段に人体への影響が少ないことに加え、消毒後の農地に残留物が無い。適切な管理をすることにより、3年ほど消毒効果が得られる。

問 答

農業場面における具体的な利活用は。
農業環境変動研究センターが技術を有する、低濃度エタノールを利用した土壌還元作用による土壌消毒として、利活用を想定している。

問 答

道路メンテナンスにおけるPFI事業の内容は。
道路などを維持管理する際に発生する刈り草などからエタノールを製造し、農地などでの消毒用資材として供給するもの。

道路メンテナンスのPFI事業（※）について

PFI事業化に向けた今後のスケジュールは
PFI事業として事業化の可能性があれば、事業実施方針を策定し、事業実施と
なっていく



仲谷 政弘
自民クラブ

東名・新東名高速道路へのアクセス向上に向けた取り組みは

国・県に対して積極的に要望活動を実施している



中神 靖典
自民クラブ

広域幹線道路の整備について

問 東名・新東名高速道路へのアクセス向上に向けた取り組みは。

答 「浜松三ヶ日・豊橋道路」を中心として、「名豊道路（23号バイパス）」「渥美半島を縦貫する道路」の連携を位置付け、国・県に積極的に要望活動を実施している。

問 「名豊道路（23号バイパス）」のすべての区間の開通の見通しと2車線から4車線化への予定は。

答 蒲郡バイパスの未開通区間9.1kmは、用地取得とトンネル工事が進められている。4車線化の完成時期は未定だが、調査設計や関係機関の協議が進められており、並行して進んでいくものと期待している。



問 「主要地方道豊橋渥美線」の整備の進捗状況は。

答 現在、用地取得率は67.3%となっており、県とともに用地取得の交渉を進めている。工事については、浦片土地区画整理事業地区内の約460mの区間で道路新設工事と、童浦小学校南交差点の改良工事を並行して進めている。

問 浦片地区から白谷地区へと結ぶ「主要地方道豊橋渥美線」のバイパス整備の取り組みに変わりはないか。

答 工事区間1.3kmの整備完了に引き続き、未着手区間である白谷地区の整備を県に協力しながらお願いしていく。

問 「渥美半島を縦貫する道路」の取り組みは。

答 必要不可欠な道路であると認識しており、国・県に対して強力に要望活動を実施している。

お知らせ information

平成29年第4回定例会（12月議会）会期

12月1日(金)～15日(金)

日	月	火	水	木	金	土
11/26	27	28	29	30	12/1	2
					本会議 (議案審査)	
3	4	5	6	7	8	9
	本会議 (一般質問)			文教厚生委員会 総務産業委員会	予算決算委員会	
10	11	12	13	14	15	16
			議会運営委員会・ 同協議会		本会議 (採決等)	
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30

10:00 開会

(7日 総務産業委員会…13:30開会)

日程及び時間は、変更になる場合があります。

- (※) 公共施設等の建設・維持管理・運営などを民間の持つ経営ノウハウや資金を活用することで、効率的・効果的に公共サービスを提供することを目的とした公共事業の手法。
- 問** 事業化に向けた今後のスケジュールは。
- 答** PFI事業として事業化の可能性があるかと判断できる状況となれば、国や県、市の支援のあり方を整理して、詳細の検討や市場調査などを行う。その後、事業実施方針を策定し、事業実施になっていくと考えている。
- 問** デメリットはどうか。
- 答** 土壌消毒の実施期間が、現在の農業による土壌消毒に比べて1週間から10日ほど長くなる。
- 問** 運営については、今後の取り組み予定は。
- 答** 大規模プラントを建設するのではなく、市内業者が参画しやすい小規模プラントを点在させる、自由度の高い運営方法で民間に任せる考え。

鳥獣等被害対策の今後の方針は

地域住民が捕獲に取り組める「地域駆除隊」を検討していく



古川 美栄
自民クラブ

鳥獣等による被害状況とその対策について

- 問** 鳥類による農作物被害は、今後ますますの拡大が懸念されるが、その対策は。
- 答** 地域から要請があった場合、田原市猟友会に依頼して、猟銃での駆除活動を行っている。農業者には、防鳥ネットや光テープ、トラ風船などを設置して自己防衛に努めてもらっている。
- 問** かかしの設置効果は。
- 答** 風などにより、常時動く仕掛けがしてあるものは、大変効果がある。
- 問** ハクビシンによる被害への市の対策は。
- 答** 農業者に小型のおりを貸し出し、猟友会管理のもと、捕獲している。
- 問** 電気柵の設置は、効果が高いと思うが、助成予算を増やす考えはないか。
- 答** 事前に要望調査を行い、次年度の予算措置をしていきたい。
- 問** 新規で狩猟免許を取得する人材を育成する必要があると思うが、助成する考えは。
- 答** すでに狩猟免許を取得している猟友会の現状や意向を調査し、検討していく。

- 問** 平成29年3月、愛知県において「イノシシ根絶エリア」に指定されたが、その目標と対策は。
- 答** 目標はイノシシの根絶、農業被害の未然防止。対策はネットや電気柵などによる防除と、おりによる捕獲。
- 問** 効果が期待できる対策に積極的に取り組んでいく必要があると思うが、今後の方針は。
- 答** 地域の声を聞きながら、地域住民が捕獲に取り組める「地域駆除隊」についても検討していく。



問 答

社会人に対する喫煙率低減のための取り組みは、がん検診の受診勧奨とともに、たばこの健康被害の情報提供をしている。たばこ健康マイレージの健康づくりの目標にも設定してもらっている。

問 答

市内全校で将来の喫煙防止につながる授業をしている。保健師が小学校に出向き、がん予防教育、正しい生活習慣や喫煙防止の啓発を行っている。

問 答

喫煙防止には子どもへの教育が重要だが、喫煙が心身に悪い影響を及ぼすことを教える授業は続けられているのか。

問 答

喫煙率を低減するための市の取り組みは、健康への影響についての啓発・教育、喫煙妊婦への禁煙指導、希望者への禁煙支援をしている。

田原市の喫煙対策について

受動喫煙防止のために基準をつくる必要があるのはガイドラインを制定していきたい



廣中 清介
市民クラブ

サンテパークたはらの今後の展開は

魅力ある地域を活性化するための情報発信をしていく



岡本 禎稔
自民クラブ

サンテパークたはらの管理・運営について

- 問** 駐車場からマーケットまでが遠くて不便だとの意見がある。今後の対処の予定は。
- 答** マーケット付近の施設の配置換えなどを検討していく。
- 問** 田原駅からサンテパークたはらへのぐるりんバスの直行便がなくなり、不便との声への対応は。
- 答** 平成29年4月から、野田線を1日当たり2便増便した。
- 問** ぐるりんバスの野田線などを田原駅までの直行便として運行できないか。
- 答** 所要時間や運賃、ルート、効果などを総合的に再度検討していく予定。



- 問** 現在の市民農園の内容と利用状況は。
- 答** 1区画20㎡、利用料は年間5,000円で、市内に90区画の農園がある。1人で複数の区画を利用する人もおり、42人が77区画を利用している。
- 問** 市民農園での栽培経験を活かして、大きな農地で栽培し、出荷したいとの声がある。定年退職後の生きがいづくりになると考えられないか。
- 答** 市民農園は、農地を持っていない市民に、趣味の範囲内で家庭菜園を楽しんでもらうために開設している。栽培技術を学び、産直市場などへの出荷をめざす方には、市の農業セミナーのプログラムで支援していく。
- 問** サンテパークたはらの今後の展開は。
- 答** 施設の充実やイベントのPR、体験教室のメニューを工夫するなどして、魅力ある農業・農村、地域を活性化するための情報発信をしていく。

- 問** より多くの人が、禁煙に取り組みたくなるような施策は考えているか。
- 答** 出前講座や広報紙による啓発に加え、新たに市のホームページにたばこや受動喫煙のページを設けるなど、一層の啓発に取り組んでいく。
- 問** 受動喫煙を防止するための市の取り組みは。
- 答** 健診や広報紙での啓発、妊産婦家庭訪問や乳幼児健診での指導を行っている。施設面では、子ども利用施設は敷地内全面禁煙、その他の施設は屋外に喫煙所を設け、分煙の対策をしている。
- 問** 公共施設の出入り口付近にある喫煙所は移設すべきでは。
- 答** 既設の喫煙所の移設も含めた検討を進めたい。
- 問** 豊橋市では、条例により路上喫煙禁止区域を定めているが、田原市の考えは。
- 答** 田原市環境保全条例によるポイ捨て禁止という環境面での定めはあるが、路上喫煙に関する定めはない。他市の条例などを調査研究していきたい。
- 問** 受動喫煙防止条例を検討すべきではないか。
- 答** 国の法整備を注視しており、条例の制定は今のところ考えていない。
- 問** 受動喫煙防止のために、何らかの基準をつくる必要があるのでは。
- 答** 民間事業所でも活用できるような受動喫煙防止のためのガイドラインを制定していきたい。

公契約条例制定に向けての市の考えは

公契約条例や基本方針などの制定の必要性についてさらに検討していく



赤尾 昌昭
市民クラブ

公契約条例について

- 問** 全国的な公契約条例制定の動向は。
- 答** 全国で平成28年度末までに34自治体が条例を制定した。近隣では、愛知県と豊橋市がすでに制定している。
- 問** 近隣市町村が公契約条例を制定したことによる田原市への影響は。
- 答** 豊橋市による条例制定以降、田原市での契約への影響は特に出していない。
- 問** 公契約条例制定に向けて、市の考えは。
- 答** 公契約条例や基本方針などの制定は、引き続き、近隣の動向を調査し、情報収集を行い、必要性についてさらに検討していく。
- 問** 公契約条例を市はどのように認識しているか。
- 答** 労働者の適正な賃金の保障と、受注競争の適正化による経営の安定などが見込まれるものと考え

- 問** 市の発注する事業が、市民の労働条件向上に果たす役割をどのように考えるか。
- 答** 公契約において適正な契約を締結すると、適正な労働条件の確保につながるものと考え
- 問** 公契約条例を制定しようとする場合、どのような課題が想定されるか。
- 答** 建設事業者は、事業ごとに賃金や労働条件などを確認する負担が増える。今後、建設事業者との意見交換や合意形成が必要になると想定される。

問 答

地区役員の反対意見の把握は、調整の段階で、反対意見があるのは承知している。意見を聞きながら改善策をまとめたい。

問 答

市有地の有効活用、利便性などを検討し、今回の場所以外を提案した。

問 答

今回の建設予定地の変更が、入居者および地域住民にとってプラスかどうか、市の見解は。

問 答

イベントの開催方法、児童の遊び方を検証し、地域の方たちと改善策を考えたい。

問 答

清田校区からの要望書では、移転候補地はイベントや児童の遊び場として使用していることを反対の理由としているが、代替地の確保を検討するのか。

問 答

地元と協議、調整を続けている。入居者には、他の市営住宅などへの入居を案内している。

問 答

高木住宅建て替え候補地変更への反対意見に、どのように対応するのか。

市営高木住宅建て替えについて

具体的には決まっていない。地元調整に時間がかかると考えている

高木住宅建て替えの時期は



杉浦 文平
無所属クラブ

住民主導のタイムライン策定への支援は

各自主防災会の状況に合った計画策定に、地域と協働して取り組んでいく



辻 史子

公明党田原市議員

住民主導の事前防災行動計画 (タイムライン) (※1) について

問 水害に備えた市のタイムライン策定の状況は。

答 平成28年8月に国土交通省から「タイムライン策定・活用指針」が示された。防災関係機関と共同で策定に取り組んでいきたい。

問 河川の管理や防災対策の状況、県との連携はどのようになっているのか。

答 汐川、江比間の新堀川、免々田川、天白川に水位計を設置し、避難勧告などの判断水位を観測、準用河川・水路などは見回り監視して、災害に備えている。県との連携は、河川整備の要望を行うとともに、豊川圏域水防協議会などでの情報共有を図っている。

問 改正水防法(※2)による対応は。

答 県が指定した土砂災害警戒区域内に立地する社会福祉施設の事業者に対して、早期の避難確保計画の作成や、地域と連携して行う避難訓練の実施を支援していく。

問 住民主導の事前防災行動計画(タイムライン)策定への支援は。

答 住民の合意のもと、各自主防災会が主体的にタイムラインを策定すれば、実効性の高い計画になる。各自主防災会の状況に合った計画策定に、地域と協働して取り組んでいく。



(※1) 災害発生前から発生後まで「いつ」「誰が」「何をするのか」をあらかじめ時系列で整理した防災行動計画。

(※2) 水防法は、洪水、津波などによる水害に対応することを目的とした法律。近年、洪水などの水害が頻発していることから、「逃げ遅れゼロ」と「社会経済被害の最小化」のための抜本的な対策を講ずるよう、平成29年6月に改正された。

問

高木住宅は人口対策、市街地活性化に必要不可欠な施設である。建て替えは、いつまでをめぐりに考えているのか。
具体的には決まっていない。今後も地元調整に時間がかかるかと考えている。

問

清田市民館を移転し、現市民館を地区公民館として払い下げた後、市営住宅を建設してはどうか。

地元との調整でそのような話題があれば、参加したい。清田地区の発展や活性化が図れるよう、しっかり対応していく。



議会行政視察報告 総務産業委員会

7月3日(月)～5日(水)

- ・「東日本大震災からの復興について」宮城県亘理町
- ・「フィルムコミッション事業について」茨城県水戸市
- ・「サーフタウン構想について」千葉県一宮町



【参考になった点・所感】

宮城県亘理町

- ・震災時、議員の多くは被災者とともに復旧に追われ、議会どころではなかったと聞いた。田原市議会も議会BCPを検討中ではあるが、早急に策定の必要があると感じた。
△関連18ページ

茨城県水戸市

- ・映画などのロケ地になった場合、大規模な撮影では、50～100人程度のスタッフが訪れ、撮影後には、その作品のファンが全国から訪れる。経済効果だけでなく、交流人口の増加も見込まれる。

議会行政視察報告 文教厚生委員会

7月10日(月)～12日(水)

- ・「家庭系ごみ有料化の経緯と有料化後の現状と課題について」岡山市
- ・「学校規模適正化と小中一貫教育について」佐賀県多久市
- ・「廃校活用について」福岡県八女市



【参考になった点・所感】

岡山市

- ・家庭ごみ有料化導入の1か月前に、「有料指定袋の見本」と「ごみ減量・リサイクルガイド」を全世帯に配布した。実際のごみ袋のサイズを体験できたことで、有料化がスムーズにスタートできた。

福岡県八女市

- ・廃校となった校舎などが、宿泊施設だけでなく、交流センターや診療所などにも活用され、地域の交流や活性化につながっている。廃校活用には柔らかな発想が必要であると感じた。

議会行政視察報告 議会運営委員会

8月10日(木)

千葉県流山市

- ・「議会ICT化の取り組みについて」
- ・「議員間討議について」



【参考になった点・所感】

議会ICT化の取り組みについて

- ・ プロジェクターやスクリーンを活用した一般質問の実施は、質問内容が伝わりやすくなることやタブレット端末の活用の幅が広がるなどのメリットが多く、田原市でも導入の必要があると感じた

議員間討議について

- ・ 田原市では、これまで議案審議の際に議員間討議を実施してきたが、流山市議会の実施状況を参考にして、今後は請願・陳情審査の際にも実施したら良いのではと感じた。

道路整備予算の確保などを求める意見書を国に提出しました

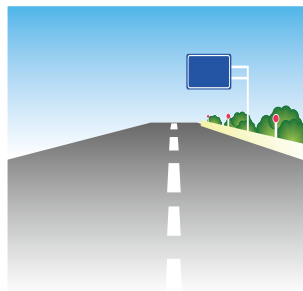
「道路整備予算の確保及び道路整備に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書」

議員が意見書を発案して、総務産業委員会での審査後、本会議において全会一致で可決し、衆議院議長、参議院議長や内閣総理大臣などに意見書を提出しました。

同様の意見書は、愛知県議会でも提出しています。

(意見書の内容)

- ・ 地方創生の実現に向け、道路整備に必要な予算を確保すること
- ・ 道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の補助率等の高上げ措置については、平成30年度以降も継続・拡充すること



意見書とは…?

意見書とは、地方公共団体の公益に関する事案について、議会の意見をまとめた文書のことです。

地方自治法第99条には、「普通地方公共団体の議会は、その普通地方公共団体の公益に関する事件につき意見書を国会または関係行政庁に提出することができる」と規定されています。

具体的には、議員が発案して本会議にはかり、可決された後、国会や関係行政庁に提出します。

7月24日・8月16日
愛知県後期高齢者医療
広域連合議会



7月24日に臨時会、8月16日に定例会が開催され、田原市議会代表の森下田嘉治議員が出席しました。

8月8日・9日
東三河広域連合議会



定例会が開催され、田原市議会選出の長神隆士議員が「介護保険施策の展開」について一般質問を行いました。

7月21日
京都府京田辺市 行政視察受入



「議会だよりの取り組みと編集」について視察を受け入れました。

7月26日
東三河8市町村議員 研修会



東三河8市町村の議員・議会事務局職員が集い、「『地方創生』時代における議会の役割」についての講演を聴講しました。

7月18日
東三河市町村議会議長協議会
定期総会



東三河8市町村の議長・副議長が集い、国などへの要望（道路整備等）が議決されました。

7月26日
民間保育園などと意見交換



文教厚生委員会が、市内の民間保育園および認定こども園との意見交換会を行いました。

議会BCP策定に向けて

田原市は、東海地震の地震防災強化地域や南海トラフ地震防災対策推進地域に指定されるなど、大規模地震の危険性が高い地域にあります。このような大規模地震が発生した場合にも、迅速に議会機能の回復を図り、市民ニーズを的確に反映した復旧・復興に早期に取り組むことができるよう、田原市議会では、議会独自の業務継続計画（BCP）の策定を進めています。

現在、検討の主体である議会運営委員会において、月1回のペースで検討会を開催し、活発な議論を重ねています。

■BCPって？

BCPは、「Business Continuity Plan」の略で、災害や事故など不測の事態を想定して、事業継続の視点から対応策をまとめたものです。

田原市総合防災訓練に参加

災害時には、議会として、被災地域の状況や被災者のニーズなどを正確かつ迅速に情報収集する必要があります。

平成29年8月26日（土）に行われた田原市総合防災訓練に議員が参加し、議会情報伝達訓練を行いました。情報伝達には、議会独自で設けているグループウェアシステムの活用が有効なことから、その機能を活用して、議員が避難所の状況などを情報収集して、災害対策本部と情報を共有しました。



市民と議会との意見交換会

テーマ：「人口減少する中でのまちづくり」

市民の皆さんと議員が車座になって、テーマについて意見を交換する会を初めて開催しました。

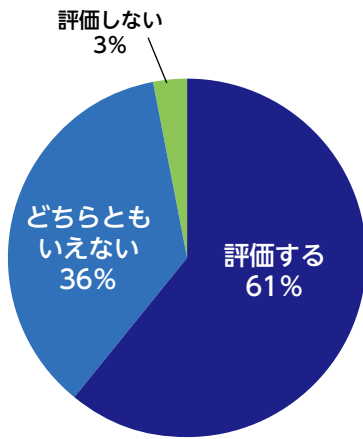
8月4日（金）：田原文化会館201会議室・赤羽根市民館会議室・渥美文化会館大会議室



3会場で32人の方にご参加いただき、多くの意見をいただきました。

〈参加者のアンケートから〉

■意見交換会はどうでしたか



- (主な意見)
- 将来のビジョンを聞けたと思う。高齢社会を迎える時代。人が集まる場所の計画性を出してほしい。(駅前など)
 - 人口を増やすことも大切ですが、減らさないことの方が重要だと思います。
 - 意見が言える場があるのは本当にいいので、たくさんつくってください。ただ、形式だけやるのではなく、真剣にきいてくれる姿勢がないと人は集まらないと思います。
 - いろいろな意見が出て参考になった。これからも続けて開催して、住みやすい田原市をつくらせてほしい。議員の皆様への努力に期待しています。

市民の声

あなたも自分の声を
議員に伝えて
みませんか？

アンケートの自由意見から

次回がある事を望みます！
参加人数を増やしましょう！
→ 人口減少をくいどめたい気持ちがある人集まれ！

少人数で話し合いが!! 大勢の意見を取り込む場を作してほしい! 地域住民が関わりやすい会場を希望!

市民と議会との
意見交換会は
今後も開催していく
予定です。

開催日程が決まりましたら、
議会だよりや回覧でお知らせします。
ぜひご参加ください。



インタビュー

Vol.15

渥美虹の会のみなさん

和太鼓演奏で障害者理解を広めたい

— 渥美虹の会とは、どのような団体ですか？

障害者が地域社会の中で、生き生きと生活することを目的として障害者とその家族、賛同者が一緒になって活動しています。障害のある子どもたちの親たちが、話し合い、助け合う仲間が欲しいと思い、集う場として昭和60年6月「渥美虹の会」を発足しました。

— どのような活動をしていますか？

和太鼓の練習・演奏のほかに、季節の行事（クリスマス会、餅つきなど）、クラフト手芸などのものづくりをしています。定期的に臨床心理士の先生による個別面談を受け、生活へのアドバイスももらっています。

— 和太鼓に取り組むようになったきっかけは？

会が発足して4年後の平成元年に、言語療法の先生から「言語訓練の音節」や「順番を待つ」ということを身につけるために、和太鼓に挑戦してはどうかと勧められたことがきっかけです。



— 活動に参加して、良かったことは？

和太鼓の演奏で太鼓フェスティバル、愛知万博などいろいろな舞台に立たせてもらい、温かい拍手をいただいたことです。仲間と一緒に達成感を感じることができるとです。

— 和太鼓の練習は楽しいですか？

和太鼓演奏は、リズムと体の動きが一体になっています。リズムに合わせて体を上下させ、仲間同士が視線を合わせて心を通わせると、もっと楽しくなります。振り付けで飛び跳ねたり、大きな掛け声を出したりするので、和太鼓の練習はとても良い運動になっています。

— 将来の夢を教えてください。

まず、障害者が安心して幸せな生活をおくれることです。それから、和太鼓の演奏活動を通して、私たちの存在を多くの人に知ってもらい、そして、理解してくれる人を増やしたいです。障害のある子どもも、不安なく育てていける田原市になってほしいです。



仲間を募集しています

障害のあるなしに関わらず、私たちと一緒に楽しんでくれる仲間を募集しています。

連絡先：渥美虹の会 北原初代
☎ 090-9226-1977

(聞き手：河邊正男・小川貴夫)

発行/愛知県田原市議会 編集/広報広聴特別委員会 〒441-3492 愛知県田原市田原町南番場30-1 ☎ 0531-23-3533 FAX 0531-22-5952

☑ <http://www2.city.tahara.aichi.jp/gikai/>

✉ gikai@city.tahara.aichi.jp

募集

パートさん
しその葉の摘み取り作業
内職さん
しその葉の結束・パック詰め



(応募) まずはお気軽にお電話ください。

TEL 0531-37-0447

(有)前田園芸 田原市江比間町二字郷中45
自宅: TEL0531-37-0447



社会福祉法人 福寿園

愛と感謝と奉仕

養護盲老人ホーム 福寿園
特別養護老人ホーム 田原福寿園
地域密着型複合福祉施設 田原ゆの里
ケアハウス パシフィック
特別養護老人ホーム 渥美福寿園
地域密着型複合福祉施設 花の里

【法人本部】田原市六連町神ノ釜 9-3
TEL (0531)27-0008 FAX(0531)27-0828